



発行日 2016年12月20日 48号  
 発行 相原まちづくり協議会  
 責任者 理事長 土田 恭義  
 所在地 町田市相原町 597-56  
 電話 042 (774) 2982

相原まちづくり協議会

検索

## 相原駅周辺まちづくりの進捗について

### 駅西口のまちづくり

2016年3月、地域の新しいにぎわいと交流の拠点となる西口広場が完成し、皆様にご利用いただける様になりました。

町田市では、地権者の方々と「相原駅西口について考える会」を開催し、駅西口をどのような街にしていくのか検討を進めています。

2015年度には地区の将来イメージが取りまとめられました。今後は将来イメージを踏まえ、具体的な土地利用の検討を進めていきます。

引き続き、誰もが安心して住み続けられ、訪れたい活気と魅力のまちづくりに取り組んでまいります。

### 駅西口の将来イメージ

③都市計画道路3・4・49号線沿いのイメージ (案)



④旧町田街道のイメージ (案)



①相原駅からみた東北ゾーンのイメージ (案)



②東北ゾーンと東南ゾーン間のイメージ (案)



### 駅東口のまちづくりは検討を継続

#### 駅東口のまちづくり

駅東口は相原駅入口交差点に代わる新しいアクセス路のルートを決めました。

現在は、道路の設計を行いながら、関係機関との協議等を進めています。

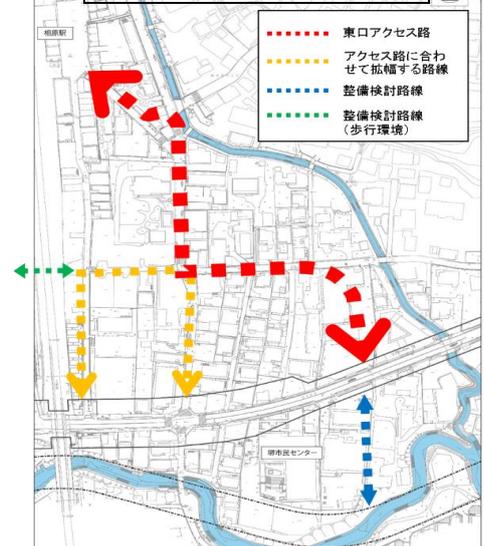
また、新たな道路に合わせて東口全体の街のルールづくりなどを地権者の方々とともに検討していきます。

(相原のまちづくりの詳細については市のホームページをご覧ください。)

#### 問い合わせ先

町田市都市づくり部地区街づくり課  
 担当：秋葉・船岡 電話 042-724-4266

#### 駅東口アクセス路のルートについて



## 相原エリア魅力づくりコンテスト

このコンテストは公益財団法人相模原・町田大学地域コンソーシアムが主催し、10月2日町田市庁舎にて開催されました。町田市相原エリアを対象とし、地域の魅力を伝える企画、提案と実施までの一連を体験するコンテストです。相原からは昨年発足した相原にぎわい創生プロジェクトが行政機関と連携し今後の地域のまちづくりの具体的活動に活かすことを目的として参画しています。

今回の相原まちづくり講演会は、入賞3チームが内容を発表しました。あいとびあでは全6チームの主要を掲載いたします。

参加大学・・・青山学院・桜美林大学・相模女子大学・女子美術大学・法政大学



## 第19回相原まちづくり講演会

平成28年11月13日(日) 堺市民センター 2F大ホール

主催：相原まちづくり協議会

共催：町田市, 公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム, 相原にぎわい創生プロジェクト

後援：相原地区連合町内会, 一般財団法人相原保善会, 社会福祉法人町田市社会福祉協議会

### 町田市が進める観光街づくりについて

町田市経済観光部産業観光課担当課長

中村 考志

町田市でも2020年をピークに人口が減少に向かうと考えています。最近の観光のトレンドは個人または少人数で、地域ならではの資源や体形を楽しむものになってきており、地域ならではの特色を活かし、交流人口を増やすことで地域の経済の活性化に繋げていきたいと考えています。

現在町田市では、観光街づくり基本指針の策定作業を進めています。今後はこの方針の基、観光街づくりを進めていきます。

この相原地域は高いポテンシャルを持っていると考えています。今後とも地域の皆様と観光街づくりを進めていきたいと考えています。



### 実施及び結果の講評

相模原・町田大学地域コンソーシアム事務局長

古矢 鉄矢



この相原エリア魅力づくりコンテストは、学生が地域の魅力を発見し地域の皆様と実現を目指すことを目的とした地域交流プロジェクトです。

相原の成り立ち、風土、歴史、産業、文化を知り、それに若々しい視点で息を吹き込んでいきます。地域の皆様に応援し、農園や工房や炭焼きの家を訪ね、暮らしを

知り、相原の歴史をさかのぼり、その中からキラリと光る魅力を見つけ、企画書にまとめます。自らの足で調べ、地域の皆様と対話し、魅力を見出し、構想を練り、アイデアを形にし、さらに実現に向けた提案を発表するといった総合体験学習であり、地域おこしに直接かかわる、またとない機会となっています。実践、チームワーク、コミュニケーション力を磨きます。地域の皆様にとっては、学生の企画提案から新たな魅力を見出し、相原の誇りとするきっかけになると思います。また、そうなりたいと願っています。

# 『相原森の中の竹フェスティバル』女子美術大学 環境 fan ギョン

## 最優秀賞 (さがまちコンソーシアム賞)



相原は自然に囲まれている環境があり、地元にある竹を利用してフェスティバルを行う。竹の効果については子供達に想像力を育てることができ、

新たに確保する必要がなく、経済的にも有利である。ここを利用して相原森の中の竹フェスティバルを開催し、竹カフェを開き、合わせてワーク



し、竹の遊び場の提供や竹のイベントを通し、社会性等も学べる。また、竹は健康にもよく殺菌効果があり皮膚に良い成分も入っている。設置場所については自然に満ちた相原中央公園広場があり、

ショップも開催する。竹のオリジナルロゴやマスコットキャラクターを作りイベントを盛り上げる。子どもの遊び場の製作については専門家と地元の人が協働で行う。少ない財源で子供達が想像力を発揮でき、地元の良さを活かした森の中の遊び場が提供できる。

『想像が知識より重要だ』とアインシュタインは言いました。子供達が自然の中で自由に遊べる街づくりを実践できればと思います。



# 『Let's start new life in Aihara』

## 優秀賞 (ジェイティビー賞)

# 桜美林大学 渡邊ゼミ

### 企画内容

### 町田市相原町 空き家見学 バスツアー

2017年1月からは毎月1回開催



町田の常盤にて学生生活を送っている私たちには相原は、自然いっぱい、仲間いっぱい、美味しいものいっぱいの

住宅で住むと育児、育休なども助かります。さらにここは幼稚園、保育園もたくさんあり、待機しなくても通園できます。



魅力あふれるエリアです。さあ、みんなで“*Aihara*”、“*あいはら*”で日々の生活を満喫しませんか！ 相原で住むためには、この地に行き、自ら、見て、触って、食べることが大事です。私たちのアイデアはそのために“バス・ツアー”を行なうことです！ 第一に住むためのお家を見つけなければなりません。相原には意外に大きな空き家があります。これらの空き家の見学を行ないますこれからは少子高齢化が進みます。できれば大きな家は、二世帯、三世帯

これらの園舎と園長さんの懇談のあと昼食には、近くのブルーベリー農園でのブルーベリー狩りを行ない、大地沢青少年センターでのバーベキューを味わうこととなります。さらに採りたての卵でできたプリンを試食、昔の寺子屋があった長福寺への参拝を行い、心身をリフレッシュすることとなります。参加費は、大人 5,800円、子供 500円を予定しています。町田市からの若干の補助金も期待されます。地元の相原も月一度ですが、にぎやかな街になると思われます。さあ、自然に満ちあふれた“*あいはら*”に行き新しい生活をスタートしましょう！



## 『多摩キャンパス地域交流「森カフェ」』 優秀賞（相原にぎわい創生プロジェクト賞）

この発表の着眼点として相原地区は高齢化して行くだけの場所ではなく、地域にキャンパスを持つ3大学に通学する学生（若者）が居住住民数（約1万5千人）とほぼ同数になりこれらの交流を通してコミュニケーションの輪を大きく広げ、いき

## 法政大学 チームあいほら魅ラクル

いきとした生活の活性化サイクルを作る手段の提案になります。キャンパスにある様々な施



設を利用して双方向の交流から発展し、地域の文化をも創生して将来に夢を繋いで行ける企画として評価できるものであります。ほか、東京家政学院大学や東京造形大学との連携が次のステップに進む課題となります。

### ■提案内容

- 1.開催場所：法政大学 EGGDOME 2階全フロア
- 2.（まつり）学生 =J-POP演奏、ジャズ演奏、ダンス演技、映像（マルシェ）相原町=相原産の野菜、プリン、ジェラート販売
- 3.会場は3つに仕切ります。

- ①食堂は交流スペース、学生、地域が随時プレゼンする場を設ける
- ②キッチンコーナーをマルシェに！
- ③ロビーをライブスペースに！



①～③にパネルで出演者や品物を紹介します。

### ■実施時期

- 2017年5月土曜日開催
- 以降、夏、秋、冬に開催予定



2013年「森カフェ」開催の様子

## 「Fan Run 仮装コンテスト In AIHARA」

相原地域の活性化と知名度 UP を目的に、「Fan Run 仮装コンテスト In AIHARA」と題したランニングイベントを実施する。現在若者を中心にランニングやジョギングがブームになっていることを活かし、「旅ラン」や「スイーツラン」をはじめとしてタイムを競うレースとは異なり、見知らぬ地域で新たな発見できるランニングイベントを開催する。具体的には10代高校生から30代社会人を

## 相模女子大学 チームさがじょ

ターゲットに、ランニングを通じ相原の魅力である自然を体感し、名所旧跡を巡る。併せて相原の特産物を各拠点で味わう、



また近隣の大学と連携しオリジナルメニューを提供する出店、さらには相原の自然をテーマとした“仮装コンテスト”を行う。時期は5月、時間は5時間程度で初年度は350人、10年後には3,500人の参加者を見込んでいます。



### 成功事例



## 相原へGO！トレイルランニングを活用した地域活性化の提案

## 相模女子大学 九里ゼミ

相原は都心に近く自然環境に恵まれている特色を生かし、新しいスポーツであり市場が拡大している「トレイルランニング」のイベントを地域の方々と共に行うことを提案。現在トレイルランニング愛好家の潜在人口は20万～70万と言われている。またその半数は関東地区に住んでいる。ターゲットとしては30～50歳代の男女で特に潜在的な女性層の発掘が重要。将来の顧客として10～20歳代の若者にも

アピールしたい。コースとしては相原駅を起点とした4.5km（45分程度）の初心者コースと大地沢青少年センター周辺の初～中級コースが考えられる。これらのコースでイベントを開催。特に相原駅を起点としたコースは、駅を降りたらすぐにランニングできるメリットがある。相原地域住民を中心にステークホルダー会議を開き「相原へGO！トレイルラン実行委員会」設置し、行政を含め多くの団体で協力して運営することが大事だ。



### 4. 提案内容(詳細)

- ①トレイルランニング・コースの策定  
スマホアプリRunkeeperで記録

コース2(大地沢青少年センター起点) 約3.5km 走行時間60分程度



高低差が多い、初心者～中級者向けの東京都・神奈川県・埼玉県にあり自然が豊富で、遠望の景色も広がる天空のトレイルコース（ここが東京都、町田市?と疑いたくなる濃厚な自然と素晴らしい天空のトレイル）

### 4. 提案内容(詳細)

- ①トレイルランニング・コースの策定  
スマホアプリRunkeeperで記録

コース1(相原駅起点)約4.5km 走行時間45分程度



高低差の少ない、自然が豊富な、だれにでもチャレンジできるトレイルコース(初めての人でもトレイルの魅力に取りつかれます)

## Let's go AIHARA Cycling

自転車に乗る人を増やすことで、多くの人に相原の自然の魅力を肌で感じてもらう。自転車に乗ることで商業施設を利用する際に各店舗で割引を受けられるようにする。相原を自転車で来てもらえるためのアピール戦略として、駅構内や店舗、SNS を活用した広告を利用する。相原には多くの観光スポットがあるが、問題点にバスの本数が少なく、いくつか行くために何回もバスに乗るか歩かなければならない。町田街道とその周辺の道路は直線的であり平坦なので、自転車が走りやすい道であると考えた。・駐輪スペース(バイクラック)の設置、・道路脇に出ている木や

## 青山学院大学

雑草の伐採(環境づくり)・自転車に乗る人が安全運転してほしいという意味を込めてヘルメットもしくはサイクルグローブを所持して商業施設に来られた方に割引サービスを実施。相原にあるものをそのまま活かして、今そしてこれからも集客が見込める自転車をターゲットにして、相原地域を永続的に活性化できる!

## Blue Mountain



### バイクラック

・東京造形大学と協力して、木製のものであれば彫刻をプラスチック製であれば絵を施した相原ならではのものに!



### 自転車の利用者をターゲットにする理由



・八王子や町田などへ繋がる道があり自転車で相原を通る人をよく目撃するが、相原の商業施設をあまり利用してもらえていない

## 夢を育む・相原町の地形模型

この度、町田の各地で事業を営む代表者の方々が組織する『公益財団法人・町田法人会』(会長 木目田邦夫氏)の社会貢献事業の一環として相原全体の地形模型を相原の皆様へと寄付がありました。

この模型は多摩美術大学環境デザイン学科の14名の学生に依るもので、現地視察から6ヶ月をかけ忠実に再現、制作されたものです。模型は5分割にできて、展示や移動を容易にできるよう工夫されています。

相原を一望出来る、学生たちの作品は、見入る私たちに様々な夢を語りかけてくれます。自分の生きる様やあり方、暮らし、家族、友人、そして地域活動や街の未来など、思いを巡らし、楽しく見て頂けるでしょう。

現状は真白な基本的な形での展示となりますが、ジオラマのように見やすく進化させようと考えています。展示は来春より行う予定ですのでご期待下さい。

尚管理は相原にぎわい創生プロジェクトで致します。



大戸方向から東側を見た写真です  
縮尺 1/2000 長さ 4.5m 幅 1.3m

## ご存知ですか？

2016年3月27日、東京消防庁第9消防方面本部消防救助機動部隊の活動基地が完成し、オープニングセレモニーおよび配備された最先端の車両や重機による消防救助の実演披露が盛大に行われました。

高い確率でその発生が懸念される首都圏直下地震をはじめとする大規模災害に対応し配備された強力な前線基地が相原のすぐ近く（多摩美術大学の並び）に出来たことは、安心・安全に繋がる大変心強い事です。

是非一度訪ねてみたいいかがでしょうか。



## 相原まちづくり協議会 改正名簿

相原まちづくり協議会の任期は3年間です。  
今回の改正では、8名の方の交代がありました。

境町会	須田 仁	
境町会	八木 稔	新役員
坂下町会	池上 騰	新役員
坂下町会	道満 茂雄	総務
元橋町会	土田 恭義	理事長
元橋町会	八木 芳明	新役員
仲町会	宮高 勇二	会計
仲町会	青木 一世	新役員
陽田町会	原 弘明	副理事長
陽田町会	奥山 忠明	
中村町内会	小林 洋	総務
中村町内会	松日楽 晃司	新役員
丸山町会	内藤 敏博	新役員
丸山町会	峯 雅通	
丸山団地自治会	守屋 松則	副理事長
丸山団地自治会	松坂 隆	
中相原町会	古谷 雄二	
中相原町会	後藤 志津雄	新役員
都営武蔵岡自治会	渡代 真知子	
都営武蔵岡自治会	西垣 京子	
大戸町会	小林 昭彦	
大戸町会	八木 節子	
坂下町会	杉崎 太吉	監査
丸山団地自治会	立本 重利	監査（連合）

### 編集後記

今から8年前の2008年9月23日「横浜線開通・相原駅開業100周年」イベントを相原駅西口で盛大に開催しました。記念として300人の子供たちの手形を陶板に加工し、その手形陶板を今年3月27日に完成した西口にモニュメントとして貼り付けました。（前号参照）  
3年後の2019年にはもう一つ100周年を迎えます。相原にゆかりのある中村雨紅作詞童謡「夕焼け小焼け」です。この詩は高井宮吉が縁あって相原の中村家に養子縁組で入籍していた時に作った詩です。

ペンネームの「中村雨紅」はこの中村姓と尊敬していた野口雨情の雨を使っています。

今では、全国に夕焼け小焼けの歌碑は多くありますが、これだけ縁のある相原にはありません。皆様も歌の詩にあるように、カラスが西の空に向かい帰って行く光景を記憶されている方も多いのではないのでしょうか。

100周年を記念して相原町民みんなの力で相原に石碑を建てませんか？

当協議会では石碑建立に向けて皆様の協力を頂きながら準備を開始します。

相原まちづくり協議会 一同

夕焼け小焼けて日が暮れて山のお寺の鐘がなるおててつないでみな帰ろう  
からすといっしょにかえりましょ  
子供が帰ったあとからはまるい大きなお月さま小鳥が夢を見るころは  
空にはきらきら金の星

相原の夕日  
写真提供 東原氏